

平成29年度 定期作況報告

(8月20日現在)

北海道立総合研究機構
農業研究本部畜産試験場

I 気象概況

7月下旬：平均気温は19.0℃、降水量は48.5mm(平年比67%)でいずれも平年並であった。
日照時間は52.6時間(平年比154%)でかなり多かった。

8月上旬：平均気温は17.2℃で平年よりかなり低かった。降水量は8.0mm(平年比16%)、
日照時間は12.8時間(平年比29%)で、いずれもかなり少なかった。

8月中旬：平均気温は14.5℃で平年よりかなり低かった。降水量は24.0mm(平年比29%)、
日照時間は11.3時間(平年比31%)で、いずれもかなり少なかった。

以上のことから、本期間は平年と比較して気温はかなり低く、降水量、日照時間はいずれもかなり少なかった。

	7 月 下 旬			8 月 上 旬			8 月 中 旬		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	19.0	18.4	0.6	17.2	20.1	△ 2.9	14.5	19.2	△ 4.7
最高気温(℃)	23.7	22.4	1.3	21.0	24.6	△ 3.6	17.4	23.3	△ 5.9
最低気温(℃)	14.8	14.8	0.0	14.5	16.0	△ 1.5	12.0	15.4	△ 3.4
降水量(mm)	48.5	72.9	△24.4	8.0	50.5	△42.5	24.0	83.0	△59.0
降水日数(日)	4	5.6	△ 1.6	5	4.5	0.5	7	5.1	1.9
日照時間(時間)	52.6	34.1	18.5	12.8	43.9	△31.1	11.3	37.0	△25.7

注1. 各数値は旬の平均または合計。△印は減を示す。

注2. 平年値は前10か年の平均値。

Ⅱ 作 況

1. 牧草 採草型チモシー

2 番草作況：不 良

3 番草作況： 良

事由：

< 2 番草 >

収穫時草丈は両年草地とも3～5cm低く、2番草乾物収量の対平年比は2年目草地が58%、3年目草地が54%と極めて低かった。

以上より、2番草の作況は不良である。

< 3 番草 >

8月20日現在の草丈は2年目草地が11cm、3年目草地が9cm高かった。

以上より、3番草の目下の作況は良である。

調査項目：

	2 年 目 草 地			3 年 目 草 地		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2 番草収穫日 (月・日)	8. 3	8. 4	△ 1	8. 3	8. 3	0
生育日数	50	49	1	50	50	0
収穫時草丈 (cm)	89	94	△ 5	91	94	△ 3
生草収量 (kg/10a)	829	1,294	△ 465	757	1,326	△ 569
乾物率 (%)	20.0	21.7	△ 1.7	20.9	21.9	△ 1.0
乾物収量 (kg/10a)	164.9	282.2	△ 117.3	158.2	291.9	△ 133.7
同上平年比 (%)	58	100	△ 42	54	100	△ 46

1～2番草通算						
乾物収量 (kg/10a)	705.8	904.0	△ 198.2	654.7	860.4	△ 205.7
同上平年比 (%)	78	100	△ 22	76	100	△ 24

3 番草草丈(8月20日・cm)	45	34	11	42	33	9

注 1) 平年値は2年目草地が前5カ年平均値、3年目草地が前4カ年平均値である。

2) △は減または早を示す。以下の表も同じ。

2. サイレージ用とうもろこし

作況：平年並

事由：本年の雄穂開花期は7月31日、絹糸抽出期は7月29日で、雄穂開花期は平年より1日、絹糸抽出期は2日早かったが、いずれも平年値の標準偏差内であった。8月21日現在の葉数は16.2枚で平年より0.1枚多く、稈長は278cmで対平年差は+9cmであり、いずれも平年値の標準偏差内であった。

以上のことから、目下の作況は平年並である。

調査項目：

	本年	平年	比較
雄穂開花期（月・日）	7.31	8.1	△ 1
絹糸抽出期（月・日）	7.29	7.31	△ 2
稈長（cm）	278	269	9
葉数（枚）	16.2	16.1	0.1

注 1) 平年値は前7カ年のうち、平成26年(最豊年)及び平成28年(最凶年)を除いた5カ年平均値。

注 2) 供試品種は「チベリウス」。